

私たちは、技能に優れた鉄筋工事企業集団として、社会に貢献します。



POWER

Vol. 76

季刊誌パワー 発行所：公益社団法人 全国鉄筋工事業協会 〒101-0046 千代田区神田多町2丁目9番6号田中ビル4階
TEL 03-5577-5959 FAX 03-3252-9170 (令和6年3月21日発行)

SPRING 2024

第3回全国女性技能者懇談会

つながろう女性鉄筋工の和

令和6年2月16日に「第3回 全国女性技能者懇談会」が神奈川県横浜市の万国橋会議センターで開催されました。今回の参加者は全鉄筋女性活躍推進ワーキンググループメンバーのほか芝浦工大建築学科学部建築学科、建設業振興基金女性定着促進担当者と前回の全国6団体所属より2団体増え8名の女性技能者が参加し、現在の働く環境の状況や問題点、要望等の意見を聞くこととなりました。

前回問題となった現場のトイレ問題では、どのように改善されたか？

- 地方はまだまだ改善の進捗はない
- 首都圏の大型現場ではほぼ改善されており音姫がついているなど、手厚い環境になった
- 女子専用トイレにも関わらず男子が勝手に使用している
- 男女兼用トイレでは男性使用後の清掃がない

設備の充実より快適に使用することのほうが重要とのことから男性の意識をもっと変える必要があるということの意見となりました。

働きやすい環境の問題点と要望は？

- ゼネコンに対して朝礼時の新規入場などの無駄な時間をなくしてもらいたい
- 新規入場に1時間もかかるなら事前にネット

トワークやオンラインを活用して欲しい。子供を保育所に預けて現場に遅刻する時も情報共有してあれば後ろめたさを感じることもなく社社できる。

その現場のカードリーダーにCCUSをタッチすると現場情報が入っていて、安全項目や危険箇所をスマホのアプリなどで確認済みなどができたら時間短縮になる。

子育て中のママ職人にとっては、通勤時間と保育所や託児所の時間の両立が問題となっていて、一緒に仕事をする仲間との協力と理解がとても重要だということがわかりました。担い手確保の問題点として職人の高齢化が進んでいる中で外国人の技能実習生はもちろんのこと、女性技能工に担ってもらうこともポイントになると思います。

また、女性ももっと気軽に建設業界に入職してもらえそうな労働環境の改善や提供が必要だ。

そのためには、女性が建設現場で安心して働けるよう「必須」と「義務化」を取り入れたガイドラインをより明確にするように国土交通省や厚生労働省などの行政機関を通してゼネコンに対して働きかけをしていくことになると思います。

さらに鉄筋工事自体を知ってもらうことが重要だと考えます。

出前講座にも女性が積極的に参画し、父兄を巻き込んで職業の安全性や重要性などを説明していくことやSNSなどで女性技能者の働く姿を発信することで、「女性でもできる」「かっこいい」という

ことを知ってもらうことも大切ではないかと思えます。

このような活動を通じて、鉄筋の重要性・価値など、この業界で働くすべての人が、なお一層誇りを持てるようにしたいと考えます。

今回の意見も一日も早く改善されるように、業界一丸となって問題に取り組めるよう働きかけていきたいと思えます。

出席者

女性活躍推進WG

- 山口県鉄筋工業協同組合
宮本 ゆり子
グループリーダー
- 神奈川県鉄筋工業協同組合
駒井 真里 様
- 東京都鉄筋工業協同組合
齋藤 淑江 様

特別参加

- 一般財団法人建設業振興基金
久保 萌 様・南條 あかり 様
- 芝浦工業大学建築学科学部建築学科
高田 貴代香 様・金子 美菜 様

女性技能者

- 茨城県鉄筋業協同組合
湯澤 奈々実 様
- 東京都鉄筋業協同組合
齋藤 絵理 様
- 協同組合東京都鉄筋工業組合
森 美咲 様
- 関西鉄筋工業協同組合
中村 奈々 様
- 長野県鉄筋業協会
橋本 美樹 様
- 岡山県鉄筋協同組合
藤田 美幸 様
- 愛知鉄筋業協同組合
林 奈緒子 様
- 山口県鉄筋工業協同組合
角屋 里美 様

働く女性の定着へ幅広く意見交換

全鉄筋が懇談会

「午前8時の朝礼に出ないのを現場で認めてもらっても、周りに申し訳なく思い、気まずい感じがある。朝礼を夕方にしてもらえば、延長保育などで対応できる。情報伝達の手段を多様化するれば、従来のやり方にとらわれず働き方も変わるのでは。女性技能者からは「現場の写真、担い手確保に取り組み建設業の魅力発信について、外部参加



者からは「専門工事業の仕事があまり知られていない。CMやYouTubeなどを活用し、仕事内容を広めてもらう必要がある。発信手段としてSNS（インターネット交流サイト）が若者には効果的とした。一方、女性技能者からは「現場の写真、担い手確保に取り組み建設業の魅力発信について、外部参加



全鉄筋の女性活躍推進ワーキンググループの宮本ゆり子リーダーは「女性技能者懇談会は今回で3回目となり、初参加も増えて活動も定着してきた。働く女性の定着は働きがいと働きやすさが認められ、魅力ある建設業の実現につながる」と訴えた。

第3回 全国女性技能者懇談会

令和6年2月16日(金)

於 万国橋会議センター 403号会議室

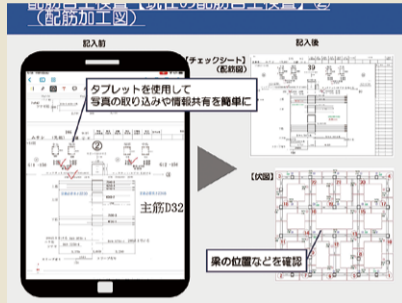
1. 会長挨拶 全鉄筋会長 岩田 正吾 [Web]
2. 来賓挨拶 一般財団法人建設業振興基金
経営基盤整備支援センター (女性定着促進)
久保 萌 様・南條あかり 様
3. 芝浦工業大学建築学部建築学科
高田貴代香 様・金子 美菜 様
4. 全国女性技能者懇談会
「つながろう女性鉄筋工の和」
・参加者の日常業務について(立場と仕事内容など)
・女性特有の苦勞や問題点について
・問題点に対する解決策は
5. 懇談会総評 女性活躍推進WG GL
宮本ゆり子
6. 全国女性技能者懇親会
(夕食を楽しみながらの懇親会)

WHAT'S UP?

第32回全国鉄筋工事業協会 青年部 雇用改善全国連絡会議

今回は、第32回全国鉄筋工事業協会 青年部 雇用改善全国連絡会議で発表された資料を紹介させていただきます。各地区から選ばれた3社が自社で取り組む即効性の高い生産性の向上事例を紹介してくれました。

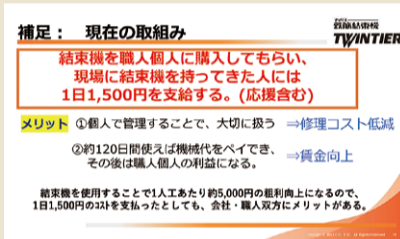
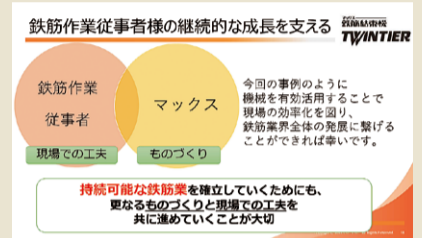
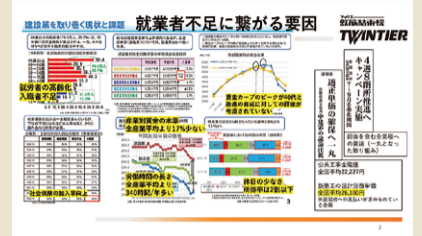
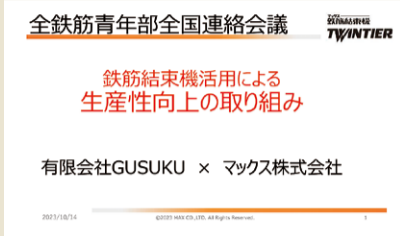
トップバッター 北信越代表 小寺さん



- 結果**
- 【品質】 鉄筋配筋の検査率100%の達成により不具合ゼロの鉄筋の納入を業界の「見える化」により検査業務の向上
 - 【生産性】 在来工法からの歩掛4%削減と労務の分散化を達成
 - 【工期】 当初目標の15日工程を更に2日減らし、13日工程達成
 - 【安全】 先組工法による不確定要因ゼロによりリスク管理の実施
 - 【環境】 第2A土壌汚染の達成

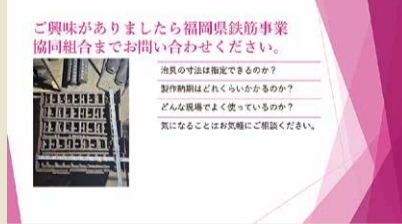
この取り組みは、現地での施工量を減らしながら自主検査の時間も短縮する事に成功した事例を紹介してくれました。現場での施工効率ばかりを考えると、視点を変えた発想がとても新鮮でした！

NEXTバッター 協同組合東京鉄筋工業協会 新城さん



この取り組みは、全国の皆さんが思っている多分そうなるよね、でも実際試したことないよねシリーズから正に目から鱗ネタを提供してくれました。鱗ネタだけではなく、サプライズネタが隠されている今回の取り組みは今後の企業の可能性をさらに広げてくれる内容になっていました。Check it out!

最後の発表 最優秀賞受賞 福岡県鉄筋事業協同組合 菅谷さん



この取り組みは、仮設にかかる費用を抑えるだけでなく管理コストや施工性にもコミットした施工事例となっており会場のみならず盛り上がりがありました。最優秀賞を見事受賞した菅谷さんおめでとうございます！

ここで会員の皆様へ朗報です。今回ご紹介させていただいた資料が全鉄筋ポータルサイトから無料でダウンロードができます。まずは、全鉄筋ホームページからその他/全鉄筋ポータルサイトへアクセスし、会員専用ポータルサイトでログインしてください。配信情報/お知らせに資料があります。

2024年度 登録鉄筋基幹技能者講習 開催地

■認定講習

開催地	開催日	定員	開催会場
142 東京	2024/5/24~2024/5/26	80	産業貿易センター浜松町館
143 福岡	2024/9/13~2024/9/15	60	久留米リサーチパーク
144 東京	2024/9/20~2024/9/22	90	台東区民会館
145 香川	2024/9/27~2024/9/29	30	サンメッセ香川
146 沖縄	2024/10/17~2024/10/19	50	沖縄市産業交流センター
147 大阪	2024/11/2~2024/11/4	90	エルおおさか
148 静岡	2024/12/12~2024/12/15	100	富士教育訓練センター

■更新講習

開催地	開催日	定員	開催会場
159 富山	2024/4/6	60	富山県総合情報センター
160 福岡	2024/4/7	60	久留米リサーチパーク
161 東京	2024/4/14	86	産業貿易センター浜松町館
162 東京	2024/4/21	86	産業貿易センター浜松町館
163 岡山	2024/4/21	54	岡山商工会議所
164 岩手	2024/5/26	50	盛岡地域職業訓練センター
165 愛知	2024/6/2	100	中小企業振興会館
166 福岡	2024/6/16	60	久留米リサーチパーク
167 宮城	2024/6/23	70	エスポールみやぎ
168 東京	2024/8/25	90	台東区民会館
169 大阪	2024/9/15	70	エルおおさか
170 東京	2024/9/16	90	台東区民会館
171 神奈川	2024/10/6	85	神奈川県建設会館
172 埼玉	2024/10/20	50	ソニックシティ会議室
173 沖縄	2024/10/20	35	沖縄市産業交流センター
174 静岡	2025/2/9	100	富士教育訓練センター
175 福島	2025/3/1	72	郡山労働福祉会館

全鉄筋の主な年間行事

- 令和6年度第1回理事会（前年度報告承認）
2024年5月29日(水) 14:00~ 会場：エッサム神田1号館ガーデンホール
- 社員総会（前年度報告承認、次年度計画承認）
2024年6月14日(金) 14:00~ 会場：ホテルインターコンチネンタル東京ベイ
- 事務局会議（事業計画周知、事務局連携）〔開催団体：関西鉄筋工業協同組合〕
2024年7月12日(金) 14:00~ 会場：関西鉄筋工業協同組合会議室
- 第5回全国鉄筋技能大会（TETSU-1 GRAND PRIX）
2024年10月6日(日) 9:00~ 会場：富士教育訓練センター
- 青年部全国連絡会議〔開催団体：北海道鉄筋業協同組合〕
2024年10月25日(金) 13:00~ 会場：モンレーエーデルhof札幌
- 令和6年度第2回理事会（職務執行状況報告）
2024年11月8日(金) 13:00~ 会場：名古屋クラウンホテル
※理事会を秋季定例会と同日開催します
- 秋季定例会（事業推進状況報告）〔開催団体：愛知鉄筋業協同組合〕
2024年11月8日(金) 14:30~ 会場：名古屋クラウンホテル
- 令和6年度第3回理事会（次年度計画承認、職務執行状況報告）
2025年3月19日(水) 15:00~ 会場：リーガロイヤルホテル大阪

<http://www.zentekkin.or.jp/>
又はQRコードでアクセス



CCUS 待ったなし

2024年4月から、残業時間の規制が始まり、4週8休が現実的になってきます。そして我々の働く環境が、大きく変わろうとしています。

もう一つ、建設キャリアアップシステムが実働登録されるのも、4月からになっていきます。

「実働登録?」何のことかわからない方も多いと思いますので、今回は、建設キャリアアップシステム「実働登録」と、「専門工事業の見える化評価」についてお話しします。

まず実働登録とは、現場での建レコ(就労履歴が蓄積されるシステム)へのタッチ、もしくは顔認証、またはiPhoneのアプリでの読み込みのみで就労履歴の蓄積が可能であるということです。「今でもそう」なのですが、建設キャリアアップシステムでは基本的に段階(レベル1からレベル4まで)ごとに、就労履歴と保有資格によって判定がなされるのは知っている方も多いのではないのでしょうか?

今までは、事業主(雇用主)が「みなし証明」を行うことによって、経歴年数の証明をしてきましたが、その「みなし」

ができなくなるということなのです。

国土交通省は令和5年6月に、建設キャリアアップシステムにおけるレベル別年収の公表を行っています。**別添1**

全鉄筋でも、レベル別最低年収の目安を設定しているところでもあります。また、令和6年1月30日には国土交通省が適切な賃金の行渡りを担保する基準となる「標準労務費」の勧告に向けた調査内容**別添2**では、公共設計労務単価に歩掛を乗じた単位施工当たりの金額の算定を行うことを公表しています。

すなわち、各レベルによって、おおよその年収の目安が示され、それによって請負金額の目安が示されていくということなのです。

先般、建設工業新聞の記事で関東地区の「標準的な価格」が掲載されたようですが、本来国土交通省では「最低年収」×「標準歩掛」によって算出される「標準価格」に直接通じることとなっています。その根幹であるべきレベル設定が、現在全鉄筋会員においてもおおよそ75パーセントの就労者がレベル判定を受けていないと考えられます。

例えば社員10人の場合の人員費をレベ

ル構成ごとに試算すると、
A社 レベル1 9人 レベル4 (登録基幹技能者) 1人の場合
B社 レベル1 3人 レベル2 3人 レベル3 3人 レベル4 1人
10月に発表された全鉄筋のレベル別最低年収**別添3**を参考に人員費を試算した場合

A社は 3670万/年
B社は 4582万/年
となり、B社の人員費は圧倒的に高くなりますが、裏返せば、上記のとおり歩掛を掛けた金額を算出することになりますので、圧倒的にA社は安請けとなっています。

現況の「処遇改善」「新4K」からは逆流になってしまいます。
残すところあとわずかしか日数がありませんが、ぜひ1日も早く自社の職人が適正な処遇を受けられるよう、そして「あこがれる業界」の構築のためにも、レベル判定の申請をお願いいたします。

そしてもう一つの「専門工事業の見える化評価」に関しては、国土交通省が「建設キャリアアップシステムに登録・蓄積される情報や技能者の能力評価を活用して、専門工事業の施工能力等の見える化を進めています。

技能者を雇用・育成する専門工事業企業が自社の施工能力等を発信し、「受注機

会や入職者確保につながる環境づくりを進めています。

現状はまだ12職種にとどまっていますが、今後は国が主導ということもあり、発注への活用・影響も十分に考えられます。

一般的な企業情報による全体評価となっており、業種横断的な評価システムです。鉄筋工事業独自の評価ではありませんが、自己評価もできるようにしていますので、ぜひ活用をお願いしたいと考えています。

まずは登録することが大事
判定された星の数は、優劣をつける意味合いだけでなく、自社に足りない部分もあぶりだせるようになっていきますので、適正雇用、CCUS活用をされている企業は有利かもしれませんが、社会の物差しという受け止めもできるでしょう。


長文になりましたが、今後の業界の処遇改善、意識向上のためそして何より、現場で汗流している職人のためになるように、対応をよろしくお願いいたします。

「CCUS企業評価事業委員会」

専門工事業の見える化評価



別添1



国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

令和5年6月16日
不動産・建設経済局 建設市場整備課

建設キャリアアップシステム (CCUS) におけるレベル別年収の公表

建設業における技能者の処遇改善に向けた取組として、昨日開催された「建設キャリアアップシステム処遇改善推進協議会」において、CCUS レベル別年収を公表しましたので、お知らせします。

- CCUS レベル別年収は、公共事業労務費調査において把握された技能者の賃金実態を踏まえ、各技能者の経験や資格が評価された場合に相当する CCUS レベルに応じ、公共工事設計労務単価の算定と同等に必要な費用を反映した上で、年収額(週休2日を確保した労働日数:234日)を試算したものです。
- この CCUS レベル別年収の公表によって、若い世代が、建設業の技能者として入職し、技能・経験を重ねていけるよう、将来の処遇面でのキャリアパスを示すとともに、技能・経験に応じた賃金支払いについて目指すべき具体的なイメージを業界全体で共有することを通じて、官民一体となって、賃上げや適正価格での受発注の促進を目指してまいります。
- なお、建設業における技能者の地位や能力に応じた労務費の見積りについては、「標準見積書の活用等による労務費及び法定福利費の確保の推進について」(令和3年12月1日付 国不建字第15号)により、建設業者団体において行っているところです。
- 今後、労務費が行き渡るための制度上の対応については、現在進められている中央建設業審議会・社会資本整備審議会基本問題小委員会の議論を踏まえて検討します。

【レベル別年収及び参考資料添付】

【問い合わせ先】
国土交通省 不動産・建設経済局 建設市場整備課
建設キャリアアップシステム推進室
課長補佐 三 道(内線:24863)
指導調整係 玉 田(内線:24865)
電話番号 03-5253-8111【代表】
03-5253-8283【夜間直通】

別添2

2024/01/30
国土省/「標準労務費」標準規格の調査開始、業務委託先を公募
【建設工業新聞1月30日 1面記事掲載】

国土交通省は、建設業での適切な労務費や賃金の行き渡りを担保する基準となる「標準労務費」の勧告に向けた調査内容を固めた。標準労務費は原則として公共工事設計労務単価に直轄工事で使用する歩掛かりを乗じ、単位施工量当たりで明示することを想定。歩掛かりには工種ごとに多くの規格(仕様・条件)があるため、その中で頻出する1種~数種の標準的な規格を抽出する。調査・分析業務を受託する民間事業者を選定する公募型プロポーザル手続きを26日に開始した。

国土省によると建設工事には1000種類以上の工種があり、その工種には多くの規格が存在する。今回の調査では、それらを▽労務費割合が判明している工種(施工パッケージなど)▽労務費割合が分からない工種(市場単価など)▽歩掛かりが存在しない工種(国直轄工事で発注しない住宅など)の3パターンに分け、それぞれ標準的な工種や規格・仕様の検討に当たる。

労務費割合が判明している工種は、過去の直轄工事の工事費内訳から規格ごとの使用頻度や相関関係を調査・分析する。調査対象工事は約3万件を想定。市場単価の適用工種や直轄工事で発注しない工種は、業界団体などに働き掛け工事データを入手するなどして必要なデータを収集する。

関連する動きとして政府は26日開会の通常国会に建設業法と公共工事入札契約適正化法(入契法)の一括改正案を提出する方向。法改正後にも中央建設業審議会(中建審)の下に標準労務費の勧告に向け幅広く関係者の合意を得るためのワーキンググループ(WG)を設置する。調査・分析結果を検討材料にWGで複数規格の標準的な規格へのまとめ方、歩掛かりの存在しない工種の標準労務費の算出方法などを検討する見通しだ。

令和5年度 安全優良職長
厚生労働大臣顕彰式典

千葉県鉄筋業協同組合
高千穂鉄筋株式会社

伊東 英昌 様



別添3

職種	レベル4 (登録基幹技能者)	レベル3 (職長)	レベル2 (一人前)	レベル1 (見習い)	団体
基礎ぐい	620万円	576万円	403万円	356万円	全国基礎工事業団体連合会
コンクリート圧送	630万円	570万円	435万円	325万円	全国コンクリート圧送事業団体連合会
内装仕上げ	840万円	700万円	560万円	350万円	全国建設室内工事業協会 日本建設インテリア事業協同組合 日本室内装飾事業協同組合連合会
鉄筋	700万円	545万円	419万円	330万円	全国鉄筋工事業協会
とび	800万円	600万円	480万円	360万円	日本建設躯体工事業団体連合会
型枠	621万円	565万円	396万円	283万円	日本型枠工事業協会
左官	627万円	555万円	373万円	278万円	日本左官業組合連合会
切断穿孔	700万円	590万円	480万円	350万円	ダイヤモンド工事業協同組合

トピックス

労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針



https://www.jftc.go.jp/houdou/pressrelease/2023/nov/231129_roumuhitenka.html

Press release content from JFTC website regarding labor cost transfer guidelines. Includes title, date (Nov 29, 2023), and contact information for the Fair Trade Commission.

労務費の転嫁を進めるための基本的な考え方

特別調査の結果を踏まえると、事業者は、多くの場合、発注者の方が取引上の立場が強く、受注者からはコストの中でも労務費は特に価格転嫁を言い出しにくい状況にあることを明確に認識した上で、次に掲げる行動を採ることが重要である。

- (1)発注者として、経営トップが関与すること、発注者から協議の場を設けること、説明や根拠資料を求める場合には公表資料に基づくものとする... (2)受注者として、国・地方公共団体、中小企業の支援機関などに相談する... (3)発注者・受注者共通の取組として、定期的に発注者と受注者がコミュニケーションをとる機会を設けること...

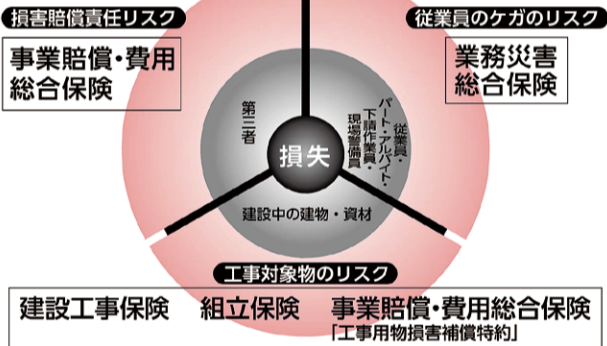


AIG 損保

全国鉄筋工事業協会、会員の皆様へ

工事総合補償プラン

工事総合補償プランは工事業種・規模等に基づき3つの補償から構成されています。ご希望の組み合わせでご加入いただけます。



- 3つの補償に共通する特長: 1. つけ忘れなし (No forgetting), 2. 安心 (Peace of mind), 3. 便利 (Convenience).

Contact information for AIG Insurance Co., Ltd. including address, phone numbers, and website URL.

組合紹介

福島県鉄筋業協同組合

福島県は北海道、岩手県に次いで三番目に大きい面積を持った県です。さらに、福島県は三地区に分かれており、太平洋側に面した浜通り地区、東北新幹線に沿った白河市、郡山市、福島市を中心とした中通り地区、そして、会津地区です。浜通りには、フラダンスで有名なスパリゾートハワイアンズがあり、東北の湘南とも呼ばれています。さらに、国宝の白水阿弥陀堂もあり、多くの観光客が訪れています。郡山市は、楽都とも呼ばれ、各種合唱コンクールで数々の賞を受賞しております。会津においては、猪苗代湖を眼下に会津磐梯山がそびえたつております。さて、当組合は昨年十月に創立六十年を迎え、組合員、賛助会員をはじめ近隣の鉄筋業組合員の出席を賜り、盛大に記念式典を開催することができました。これも、ひとえに当組合に携わって下さった皆様のおかげと感謝申し上げます。さらに、次の周年事業が行われるよ

編集後記

本年早々、能登半島において発生いたしました大地震により、北陸各地では甚大な被害を被る結果となりました。残念にも、亡くなられました方々には心よりご冥福をお祈り致しますと共に、被災されました多くの皆様には、お見舞い申し上げます。第です。

今年3月で東日本大震災から13年となります。この間の建設業をはじめとする懸命な復旧、復興活動により震災前の姿を取り戻した感もあります。しかし、メルtdownを起した福島第一原子力発電所は、廃炉に向けた道筋が見えず、処理水の海洋放出問題をはじめ避難住民の帰還など課題が山積している状況で、いまだ復興の途上にあります。

東日本大震災直後、停電し水道やガスが途絶えた中で、長蛇の列をつくり食料やガソリン、灯油を買い求めた当時を皆、忘れることはできないと思います。時間の経過と共に記憶は薄れがちとなりますが、近年は毎年、自然災害が頻発化、激甚化しております。経験、教訓を風化させないためにも、改めて当時の対応を振り返りながら、防災訓練の実施や緊急連絡網の構築等、備えを充実して、今後の防災にいかしていくことが重要なのではないのでしょうか。

岑 直樹

- 編集委員: 委員長 直樹(宮城), 副委員長 宮本ゆり子(山口), 委員: 木浪 裕子(北海道), 皆川 則子(北海道), 松本 茂(東鉄協), 斎藤 淑江(東鉄協), 工藤 桂一(神奈川), 駒井 真里(神奈川), 松本 勝静(岡), 田浦 真一(関西), 南里 未都(関西), 赤澤 栄徳(香川)